

CapeOX (XELOX) + Bmab 療法

(カペシタビン+オキサリプラチン+ベバシズマブ)

CapeOX は進行再発大腸がんの 1st ラインの 1 つとして推奨され、術後の補助化学療法にも適応があるレジメンです。また CapeOX に Bmab (ベバシズマブ) を上乗せした治療は治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌にのみ投与可能なレジメンです。

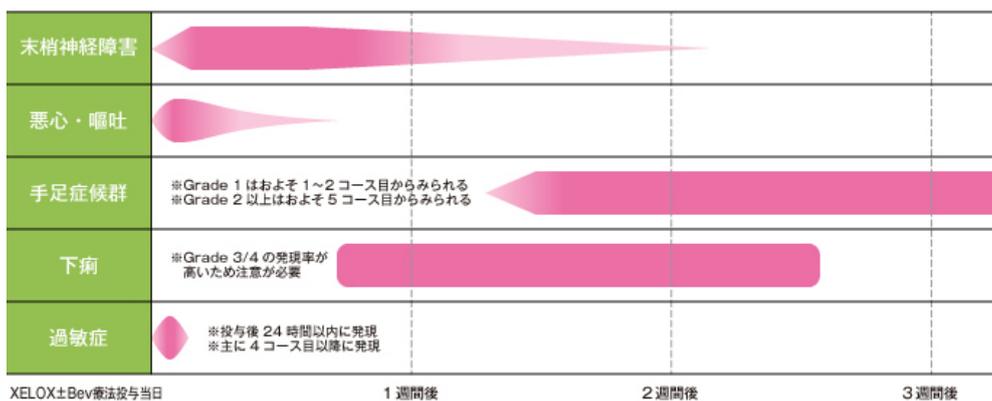
通常 21 日を 1 クールとして、day1 にベバシズマブとオキサリプラチンの点滴を行い、day1 の夕食後から、day2 以降は 1 日 2 回朝夕食後内服し、day15 の朝食後までカペシタビンを内服、7 日間休薬となる治療法です (中等度催吐リスク)。(※day2 の朝食後から day15 の夕食後まで投与する方法もあります)

【投与方法】

薬剤名	投与量	投与方法 投与期間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	~ 21	
ベバシズマブ ^{※1}	7.5mg/kg	点滴静注 初回 90 分 2 回目 60 分 3 回目以降 30 分	↓																
オキサリプラチン	130mg/m ²	点滴静注 2 時間	↓																
カペシタビン	2,000mg/m ² /日 ^{※2}	経口 1 日 2 回 (朝食後・夕食後)	↓ ^{※3}	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

21 日を 1 サイクルとして繰り返す

【主な副作用症状と好発時期】



《服薬指導ポイント》

○末梢神経障害…投与直後から 2 日以内に生じる一過性の症状です。四肢末端、口やその周囲のしびれ感や感覚異常が 85~90% の患者さんに現れます。寒冷刺激により増悪するため、冷たい飲料、エアコンの風などを投与直後から 5 日間は避けるように指導を行ってください。

- 悪心・嘔吐…悪心・嘔吐時は食事を工夫するように伝えてください。強い不安を持つ患者では催吐リスクが高いため、十分な説明を行ってください。カペシタビンによる味覚異常が影響している可能性もあります。
- 手足症候群…発現時期は遅めですが、症状が発現する前から早めの対策が症状緩和につながります。保湿剤をこまめに塗布し、皮膚の保湿を行うよう指導を行ってください。特に入浴後は早めに塗布する。物理的刺激（きつい靴下・靴の着用、長時間の歩行など）を避けることも大切です。
- 下痢…脱水症状に注意し、水分補給を心がけるよう指導を行ってください。食事を工夫する（温かく、消化吸収の良い食事）ことも大切です。症状がひどい場合は止瀉薬の投与や輸液等の対症療法が必要となります。S 状結腸や直腸を切断している患者は排便回数が多く、また、回腸ストマ（人工肛門）を造設している患者は水様便であることが多いです。可能であれば患者の病態と手術歴、排便ベースライン（回数、量、症状）の確認を行ってください。
- 過敏症…オキサリプラチンの過敏症は6～8コース目前後に起こることが多く、投与の30分以内に発現します。ただし、点滴投与後に発現する症状もあるので注意深く経過観察を行ってください。主な症状は、掻痒感、蕁麻疹、顔面浮腫、顔面紅潮、しびれ、脱力感、口腔内・咽頭不快感、動悸、頻脈、悪心、咳、くしゃみなどがあります。
- 高血圧…カペシタビン服用により血圧上昇がみられることがあります。血圧管理について指導を行ってください。急に血圧が高くなった（最大血圧 180mmHg または最小血圧 120mmHg を超えた場合）、我慢できないような頭痛が起こった場合は医療機関に連絡、または、受診するよう指導して下さい。
- 蛋白尿…おしっこが濁る、泡立つようなことがありましたら、お知らせください。
- 出血…鼻血や歯肉、膣などからの出血が 10～15 分経っても止まらない場合は医療機関に連絡、または、受診するよう指導して下さい。
- 消化管穿孔…経験したことのない強い腹痛を感じたら、痛み止めは飲まずに、医療機関に連絡するよう指導して下さい。吐き気や嘔吐、便秘を伴うこともあります。
- 創傷治癒遅延…傷口が治りにくくなる場合があります。出血が止まらない場合は医療機関に連絡するよう指導して下さい。
- 血栓症…動脈や静脈の中に血のかたまりができる場合があります。心筋梗塞や脳梗塞など起こることもありますので、意識がなくなる、麻痺が出る、めまいがする場合は医療機関に連絡するよう指導して下さい。

《注意すべき検査値》中外製薬 ゼローダ適正使用ガイド(結腸・直腸癌)より改変

Grade3 以上の血液毒性が出現した場合には休薬が推奨されます（副作用の Grade については CTCAE を参考）。2 コース目以降の投与は好中球数 $\geq 1,500/\text{mm}^3$ 以上、血小板数 $\geq 7.5 \text{万}/\text{mm}^3$ を確認し、満たされない場合は休薬となることがあります。

山口大学医学部附属病院薬剤部作成